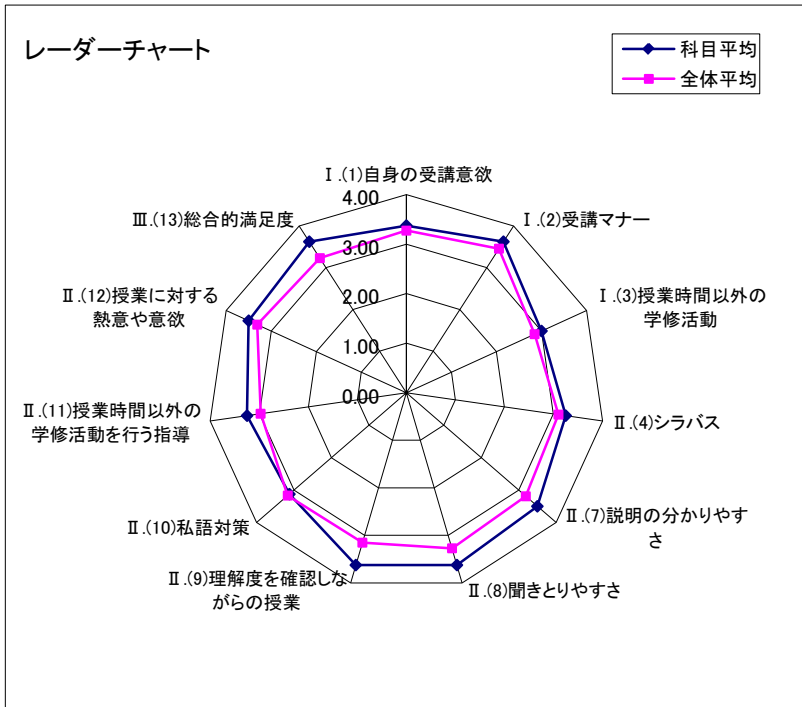
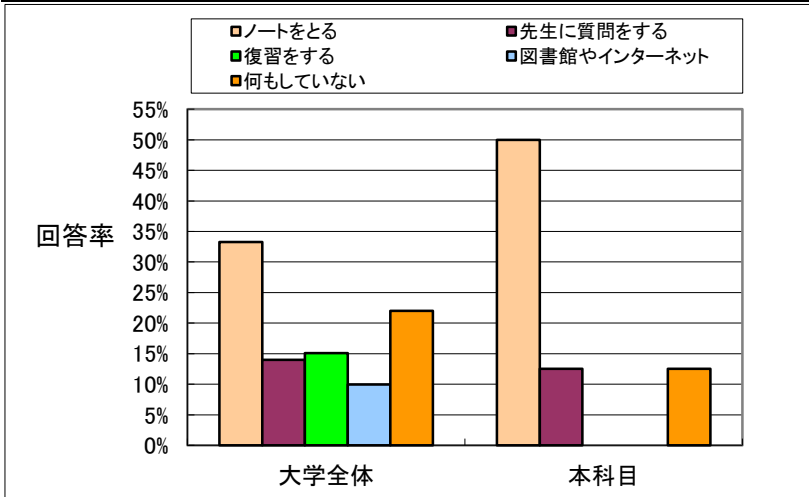


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.50	0.13	0.00	0.00	0.13



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.38	3.27
	I.(2)	3.63	3.46
	I.(3)	3.00	2.85
講義内容・方法	II.(4)	3.25	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.50	3.19
	II.(8)	3.63	3.27
	II.(9)	3.63	3.15
	II.(10)	3.13	3.17
	II.(11)	3.25	2.97
	II.(12)	3.50	3.31
	総合評価	III.(13)	3.63

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.33	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.41	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	3.63	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	2321
科目名	インターネット英語 I
教員名	

①授業計画の達成度について
 大部分の学生がこの授業を履修するのにシラバスが役立ったと答えており、またこちらとしても実際シラバスどおり授業を進め、そして終わることができたと感じている。難易度についての学生からの評価では、「高い」と「低い」がちょうど半々のような結果であったが、4年生以上の何度も再履修を繰り返しているような学生がほとんどであったことを考えれば、どうがんばってもこれが精一杯であり、これで良しとしたというのが正直なところであり、前期試験を受けた学生が全員どうにか無事合格できたという結果を考えれば、学習の到達目標に十分近づけたのではないかなと思う。

②授業の進め方について
 声や言葉、説明の明瞭さ、理解度の確認、私語等の授業環境、授業満足度についてのアンケート結果はおおむねプラスでほとんどが全体平均を上回っていた。少人数であり、かつ私語をする学生も実際にはほとんど見受けられなかったこともあり、授業自体も進めやすく、また再履修を繰り返してきた学生が大部分であることに常に配慮して授業を進めてきたことがこの結果につながったのではないかなと思う。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 このインターネット英語 I に続き、後期のインターネット英語 II についても同じく履修者は再履修を繰り返してきたレベルの学生がほとんどであろうから、前期で授業を進めるに当たり心掛けてきたことを忘れず、どんなに低学力の学生に対しても教材のレベルと授業の進め方の点で最大限の配慮をしながら対処していきたい。